

## 生物部の思い出と和気先生

石川有三(14回生)(2017.10.16 受理)

我々の学年(14回生)は入学から卒業まで2クラスでした。そして中学1年の担任は、和気先生と栗井先生でした。和気先生は、我々の学年も含めかなりの期間、中1の担任をされていました。それは、いろんな地域の小学校から来た生徒にある種の大手前カラーを教えるためであったように思います。それだけ和気先生と大手前は強い結びつきだったのだろうと後になって感じています。おまけに校内購買部では、お母さんが働かれていたのも驚きでした。

さて生物部の話を思い出しながら書いて見ます。まず、我々の在学中は生物の教員は和気先生と善先生の二人おられました。しかし、生物部は和気先生が一人で指導されていたように思いますが、実験は善先生も指導されていたようにも思います。私が生物部に在籍したのは、中1から多分中3の途中までではないかと思えます。今回、昔の事を思い出すため2才下の弟、三平(16回生)に聞いてみたら、「兄貴に言われて生物部に入った」と言っていたので、私は中3までは在籍していたらしいが、後の記憶が無い。部員についても真鍋治民君が入っていたのは覚えているが、他は余り思い出せなかったが、野外採集のときに和気先生が撮ってくれた写真があった。これを見ると、中央の列で左から合田君、私、今田君、篠原君で、



前列が、篠原さん、三好さん、土緒ちゃん、森さん、村井さん(女性はすべて旧姓)が参加していた(撮影場所は不明)。今田君、篠原君は中3で転校したので、同窓会名簿には載っていない。真鍋君はこのとき参加していなかった。先輩も4人写っているが、名前は全く思い出せない。あと、実験の部活もあってそのとき、女子部の人々が数人参加していたと思うが、名前などは覚えていない。

1, 2年学年上の人達だったような気がする。また、3学年上に順一兄(11回生)がいたので、兄にも生物部のことを尋ねてみたが、残念ながら何も覚えていないとのこと。

では、私が生物部に入った動機についてですが、単純なことです。入学後、最初の間テストで生物の点が悪く、ショックを受けたのです。元々小さい頃から私は花や植物には関心が無く、ほとんど名前を知りませんでした。それがテストではっきり点数となって出たので、これはなんとかしないとイケないと思い、生物部に入って勉強すれば改善できると思ったのです。し

かし、現実にはそう簡単にはいきませんでした。詳細な植物図鑑がそのまま歩いているような和気先生に連れられて植物採集に行っているいろいろ教えて頂いても、私には元のベースが無いので、全然頭に残りません！ただ、植物採集は丘歩きみたいなもので、楽しかったので部活は続けていました。しかし、いつまで経っても先生が教えてくれることが頭に残らないので、あるとき「もう被子植物は多すぎて無理なので、私はこれから対象をシダ類だけにします」と宣言しました。それからは少しずつシダの名前を覚えられるようになりました。例えばベニシダ、シシガシラなどはポピュラーなものですね。ほかには、屋島の先端付近の日陰に群生し、葉の裏と表が似ているリョウメンシダを教えて貰ったときのことは今でもはっきり記憶に残っています。

植物採集では、かなりいろんな所へ連れて行って貰いました。私の地元の愛媛県新宮町の銅山川に近い奥ノ院、本山の滝付近、海岸寺の海岸にそって、こんぴらさんの本宮と奥社、屋島などを覚えています。あれだけ知識も情熱もある先生に接することが出来たのは、私にとっては大きな財産になりました。しかし、和気先生には、単に知識だけでは無いものも教えて貰いました。どこだったか場所は忘れましたが、あるときの植物採集で、尾根伝いに進む少し長いコースを歩いていました。和気先生はいつものように一番後ろの生徒と一緒に歩いていました。私ら数人は自分らの健脚を自慢するかのように勝手にどんどん先に進んで行きました。そしてかなり先に進んでから、あるところで後続の人達を待っていました。最後に和気先生らが来られたのですが、先生が「途中でいくつか分かれ道があったが、今回は間違えずに来ていたので良かったが、来ているとき間違えていないかと心配だった。グループで行動しているときは、遅い人にペースを合わせないと迷子が出てしまう恐れがある。」と穏やかな口調で注意してくれました。調子に乗っていた我々もそのとき、山歩きの原則をしっかりと頭にいれることができました。

最後に植物の話に戻りますが、今は、7年前に再婚した家内がいろんな花を庭で育てており、とても花に詳しいので花の名前を教えて貰い、なんとか少しずつ花の名前も覚えてきています。